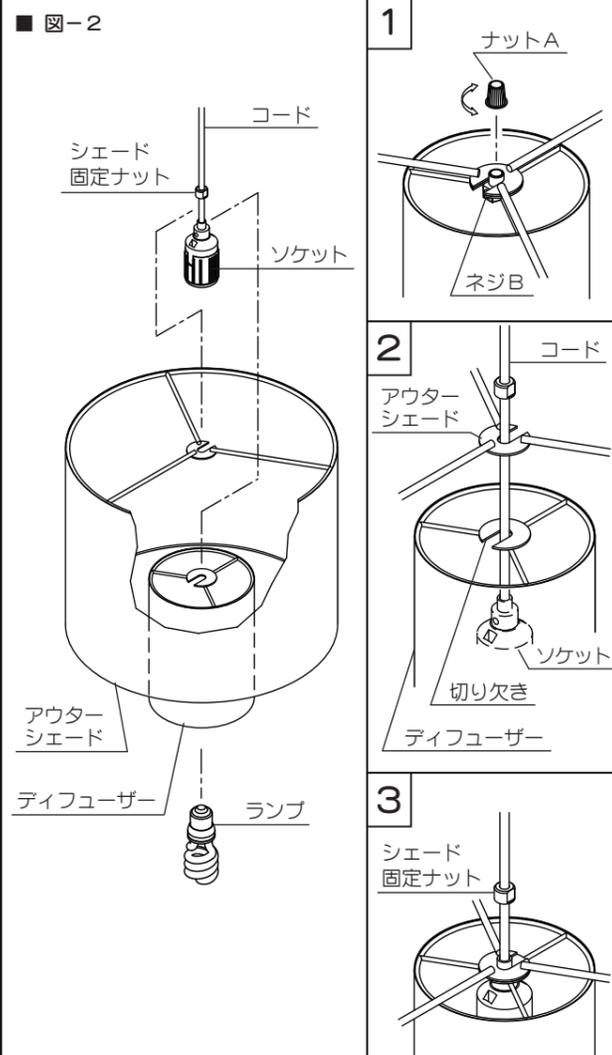
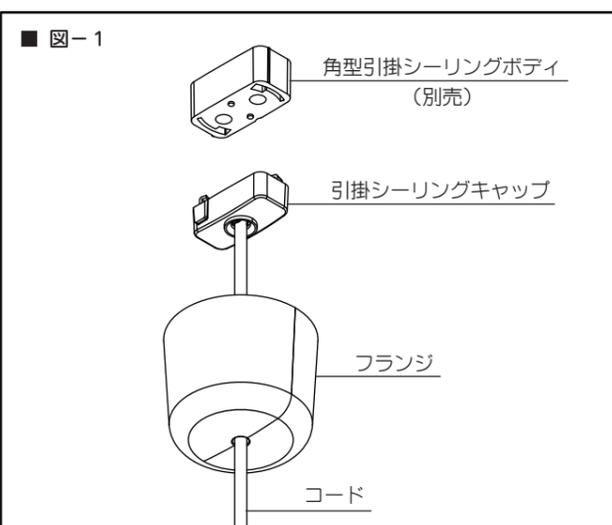


各部の名称と取り付けかた



●天井面に下図の引掛シーリングボディが付いている場合はそのままお客様がお取り付けできます。

●上図のシーリングボディが付いていない場合は、専門の電気工事店へご依頼ください。
引掛シーリングボディ取付電気工事の際は十分な長さの取付ネジ2本で天井の補強材のある位置に取り付けてください。

●天井面よりボルトが出ている場合についても、専門の電気工事店へご依頼ください。

1. フランジカバーをいったんゆるめ、左図のように分解してください。
2. 引掛シーリングキャップの2本の引掛刃を引掛シーリングボディに挿入し、カチッと音がするまで右に回してください。
3. フランジを押し上げ、天井に密着させてください。
※フランジが分割されている場合は、右図のようにフランジ分割面にある凸部を凹部に合わせ、フランジを組み立ててください。
・コードは必ず中央にある穴に通しておいてください。
注)埋込引掛シーリング・丸型引掛シーリングに取り付ける場合は、多少フランジが浮きますがご了承ください。
4. ディフューザーとアウターシェードを取り付けます。(図-2)
①仮固定しているナットA/ネジBを取りはずし、アウターシェードとディフューザーを分けてください。
※取りはずしたナットAとネジBは使用しません。
②各シェード中央の切り欠きを図のようにコードに通し、ディフューザーが下になる順で、ソケットにのせてください。
③シェード固定ナットで、ディフューザー、アウターシェードを固定してください。
※シェード固定ナットの締め付けがゆるいと、ディフューザー、アウターシェードがはずれる恐れがありますので確実に締め付けてください。
5. ランプをソケットにねじ込んでください。
器具に表示されている種類およびワット数以下のものをご使用ください。
※ランプの取付け、取外しは樹脂部を持って行ってください。
やむをえず、発光管を持つて行う場合は強く握らないでください。

使用上のご注意

- ・温度の高くなる場所や湿気の多い場所・水のかかるような場所にはご使用にならないでください。
- ・本器具は手づくりですので、セードの様子は個体差がある場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・器具の近くではラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ・器具の近くではリモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- ・調光（明るさの調節）はできません。

引掛シーリングキャップのはずし方

- ・ボタンを押し、そのまま左方向へ回してください。

定格表

カタログ番号	定格電圧 周波数	入力電流	消費電力	光源	質量
Moare Liviana M (MOARE P M FL WT)	100V 50/60Hz	0.22A	12W	E26 電球形蛍光ランプ 12W×1 (EFD15E・L/D)	1.5kg
Moare Liviana S (MOARE P S FL WT)					1.1kg

本品の規格および外観は改良のために予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

警告

- ◇器具を布・紙等でおおったり、揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となります。
- ◇器具の近くにストーブや温度の高くなる発熱体を置かないでください。火災の原因となります。
- ◇器具及び部品の改造をしないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。やけどの原因となります。
- ◇濡れた手で器具にさわらないでください。感電の原因となります。
- ◇器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
- ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

注意

- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くとも内部の劣化は進行しています。
3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がありましたら交換ください。
(使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。)
- ◇周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。
器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
- ◇可動部分のある器具は、可動範囲以上に無理に動かさないでください。
- ◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
- ◇器具に直接水を勢いよくかけて洗わないでください。